

【担当教員名】 学科全教員	対象学年	4	対象学科	言語
	開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
	単位数	12	時間数	540

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

- ・ 学外総合実習である
- ・ 学科内セミナーを実習の前に行う
事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- ・ 言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を養成する
- ・ 将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する
- ・ 実習で体験した症例を報告書にまとめる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1) オリエンテーション 事前学習・演習	評価・診断、治療・指導計画案 治療・指導方法とその効果評価方法の書き方		学内・セミナー
2) 学外実習	病院および施設実習 評価、診断、治療、計画、実際の治療の一部を体験する		学外・配属実習
3) まとめ 事語学習・発表	症例報告書の書き方 実習先で行う症例報告の口頭発表を指導する		学内・セミナー

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
参考書	言語聴覚療法 臨床マニュアル	協同医書出版社	9500円	
	ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店	2001年 2400円

【評価方法】 出席、実習先の評価、症例報告書 および症例発表の総合評価	【履修上の留意点】 実習日程、病院（施設）は、実習先との相談の上決定する
---	---